

# VOICE

## 内定者の声

キャリアタイムライン



仕事を通じて「笑顔」を届けたい。

**Q. 就職活動はいつ頃スタートした?**

A. 早期からキャリアアップ講座を受講し、就職活動に備えました。本格的に就職活動を開始したのは4年次の7月頃です。

**Q. 内定の決め手になったものは?**

A. 教職の授業などでプレゼンテーション力が身についていたこともあり、直接で肩の力を抜いて自己PRできたことです。

**Q. どんな社会人になりたい?**

A. お仕事を通じて周囲を笑顔にできる人間に成長し、多様な個性を尊重できる社会の実現に微力ながら貢献したいです。

大日方 穂菜実 さん

文学部 国文学国語学科 4年次生

キャリアタイムライン	
高校時代	● 大好きな国語の授業に熱心に励む マーチングバンド部に熱中。国語が得意だったこと、国語の先生に憧れていたことをきっかけに国文学国語学科をめざすようになった。
大学時代	● 小説を書く授業で表現力を磨く 2年次の「国語表現法」の授業で小説の執筆にチャレンジ。高校まではひと味違った学びの内容が楽しく、表現力が身についた。
	● 相手の視点に立って説明する大切さを学ぶ 教職課程の模擬授業で、生徒に内容を上手く伝える方法を工夫し、友人と協力して取り組んだことで成長できた。
4年次	● 就職活動を開始 7月頃から就職活動を本格的にスタート。ゼミの担当教員からアドバイスを受けながら、興味のある業界を絞り、余裕を持って準備した。
4年次	● 内定を獲得 憧れだったホテル旅行業界の企業から内定をいただく。面接の際に意気込みすぎず自分らしさを表現できたことが決め手になった。

【利用したキャリア支援プログラムやサポート】

自分がめざす将来像や希望する業界を明確にするためにキャリアアップ講座を受講。ゼミの担当教員からの助言とサポートも力になった。



幸せな瞬間をサービスで提供したい。

**Q. 就職活動はいつ頃スタートした?**

A. 3年次の夏頃です。学部で実施されたオンライン就職説明会で先輩方の就職活動に触れたことが大きな刺激になりました。

**Q. 内定の決め手になったものは?**

A. 熱心に取り組んできたスポーツについてPRできたことです。教職課程で身についたプレゼンテーション力もプラスになりました。

**Q. どんな社会人になりたい?**

A. 内定先でのホテル・レストラン運営やウエディング・プランニングなどのサービスを通じ、幸せを提供できる社会人をめざします。

田上 真之介 さん

体育学部 体育学科 スポーツ教育コース 4年次生

キャリアタイムライン	
高校時代	● スポーツについて深く学べる大学を探す ハンドボール部に所属。得意な体育やスポーツへの学びを深めたいと考え、伝統ある天理大学体育学部をめざすようになった。
大学時代	● 多くの出会いから影響を受ける 教職課程の模擬授業に興味深く取り組んだ。全国トップレベルの体育系クラブ活動に励む同級生とのかかわりが人生の刺激になった。
	● 教育実習で準備の大切さを学ぶ 教職課程の教育実習で、スポーツも授業も仕事もすべて準備を万全の状態にしておく必要があるのだと痛感させられた。
3年次	● 就職活動を開始 夏頃に就職活動をスタート。学部で実施された就職活動のオンライン説明会で、やるべきこと・時期を明確にしたうえで臨んだ。
4年次	● 内定を獲得 面接で今まで自分が大切にしてきたことや一生懸命挑んできたことを伝え、それらを評価いただけたことが内定につながった。

【利用したキャリア支援プログラムやサポート】

オンラインの自己分析講座とキャリア支援課での自己PRの添削サポート、学部独自のオンライン就職説明会が特に役に立った。



ボランティアで磨いた対人スキルが決め手に。

**Q. 就職活動はいつ頃スタートした?**

A. 3年次の秋です。夏に複数のインターンに参加しましたが、業界・企業研究のためにもっと参加しても良かったなど感じています。

**Q. 内定の決め手になったものは?**

A. 何より先生方とキャリア支援課の皆さんの親身なサポートです。ボランティア活動で培ったコミュニケーション力も役立ちました。

**Q. どんな社会人になりたい?**

A. 私の夢は、運転士として特急を運転することです。まずは運輸職の一員としてお客様に安心・安全をお届けできるよう頑張ります。

黒川 梨沙子 さん

国際学部 外国語学科 中國語専攻 4年次生

キャリアタイムライン	
高校時代	● 外国語に興味を持ち始める スポーツが好きで、テニス部の活動を楽しんでいた。海外に興味を持ち、語学教育に定評のある天理大学をめざすようになった。
大学時代	● 中国語ボランティアの活動に熱中 1・2年次はボランティアチームのリーダーとして、中国語絵本の読み聞かせ活動やホテルの客室案内の中中国語翻訳に熱心に励んだ。
	● 中国語力を磨きながらゼミで学びを深める 3・4年次は、教員による丁寧な指導のもと中国語力を伸ばしながら、日本語教員養成課程の授業やゼミでの学びに奮闘した。
3年次	● 就職活動を開始 夏頃に企業のインターンに参加し、秋学期から就職活動を開始。中国語専攻(※当時)独自の就活説明会で就活の流れがつかめた。
4年次	● 内定を獲得 近畿日本鉄道から内定をいただく。教員やキャリア支援課職員が親身になって相談に乗ってくれたことが早期の内定獲得につながった。

【利用したキャリア支援プログラムやサポート】

キャリアテラスの資料を活用し、業界・企業研究を実施。中国語専攻(※当時)独自の就活説明会や、インターン参加も有意義だった。



研究による社会への貢献をめざして。

**Q. 大学院進学を考えたのはいつ頃?**

A. 高校時代から視野に入れていましたが、大学3年次に病理検査学の実習に関心を持ったことで具体的な目標となりました。

**Q. 大学院はどのように選んだ?**

A. 先生方が親身に進学相談に乗ってくださいました。大学院の情報について詳しく教えていただき、自分に合った進学先を選べました。

**Q. どんな社会人になりたい?**

A. 目の前のことには真剣に向き合いながら、努力を惜しまず、医療の分野を通して世の中の役に立つことに挑戦したいと思います。

八田 桃佳 さん

医学部 臨床検査学科 4年次生

キャリアタイムライン	
高校時代	● 医療従事者になる夢を膨らます 医療にかかる仕事がしたいと考え、国家資格が取れてかつ大学院進学の実績もある臨床検査学科をめざすようになった。
大学時代	● 病理検査学の実習に熱心に取り組む 3年次の「病理検査学実習Ⅱ(鏡検)」の授業が非常に興味深く、大学院でこの分野について研究したいと考えたようになつた。
	● 天理よろづ相談所病院で臨地実習 3年次に天理よろづ相談所病院の検査室で臨地実習を経験。技師による検査を目の当たりにし座学での学びが深まつた。
3年次	● 進学に向けた準備をスタート 3月頃より、大学院進学に向けて、入試で必要な外部英語試験への対策や、専門試験の本格的な勉強を始めた。
4年次	● 大学院に合格 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻総合医療科学コースに合格。教員による進学へのアドバイスが支えになった。

【利用したキャリア支援プログラムやサポート】

就職進学説明会への参加で、大学院進学までの道筋を明確にできた。教員が教えてくれた大学院の情報が進学先選びの決め手になった。

※学生の所属学部・学科等の名称は  
2023年3月時点のものです。